

Y社2016調査	O社2016調査	A社2016調査	T社2016調査
問Ⅰ 学長について	本調査票の問い合わせ先	本調査票の送付者	学校名
問1 学生に書く力を身につけさせるために重要なもの	問1-1 所在地	フィードバック先	学校法人名
問Ⅱ 事務局責任者について	問1-2 電話番号	問1 大学入学者学力評価テストの利用を考えているか	法人傘下の学校数
問2-1 回答結果の公表について	問1-3 収容定員	問2 問1SQ「積極的に利用したい・内容によっては利用したい」に回答した人対象 どのように大学入学希望者学力テストを利用する予定か?	法人内の総学生数
問2-2 学部について	問1-4 男子学部学生数	問3 大学入学者学力評価テストのメリット・デメリットについて	法人本部所在地
問2-3 大学・学部のHPのURL	問1-5 女子学部学生数	問4 記述式の導入について(必要性及び実現可能性について)	代表的な大学のキャンパス名と所在地
問Ⅲ 記載者について	問2-1 専任職員数	問5 記述問題が思考力・判断力・表現力等をどの程度評価できると考えているか	上記キャンパスの郵便番号
(学部別回答)問3-1 一般入試で書く力を見るための取り組み(学部ごと)	問2-2 専任教員一人あたりの学生数	問6 記述量の適性について(文字数)	上記以外のキャンパス名(全て)
(学部別回答)問3-2 入学予定者への取り組み	問2-3 職員数	問7 大学入学希望者学力評価テストについて、記述式問題とマークシート式問題を別の日程で実施する案(記述式を先に実施)も検討されています。これについてとどのようにお考えですか	設置学部名(大学)
(学部別回答)問3-3 書く力の習得を目指している必修の授業科目	問2-4 就職課の職員数	問8 記述式問題の時期で妥当なもの	募集停止学部(学部)
(学部別回答)問3-4 ライティングセンターの開設	問3-1 外国人教員数	問9 英語では「話す・書く・聞く・読む」の4技能の評価を推進する予定ですが、「話す」テストについて(必要性と実現可能性について)	募集予定学部(学部)
(学部別回答)問3-5 卒業論文・研究・制作を貸しているか	問3-2 外国人教員比率	問10 高大接続システム改革会議「最終報告」では出題科目数についてはできるだけ簡素化	設置研究科名(大学院)
(学部別回答)問3-6 海外体験・留学プログラム	問3-3 海外留学生派遣数	問11 高等学校基礎学力テストが大学入学者選抜に用いられることになった場合について	募集停止学科(大学院)
(学部別回答)問3-7 学生を育てる地域との協働教育プログラム	問3-4 外国人学生数	問12 (個別試験について)多面的な評価の選抜方法の入学者の割合	募集予定学部(大学院)
問3-8「大学の實力」調査は、貴学の教育力向上の取り組みに役立ったか?	問3-5 海外協定校数	問13 (個別試験について)高校での課題研究や探究活動の成果を貴学において大学入学者選抜で評価する方向に変えたいと考えているか	就職支援部署名

追加資料

平成30年3月2日 (金)

Y社2016調査	O社2016調査	A社2016調査	T社2016調査
問3-9結果公表によるトラブルについて	問4-1 独自の奨学金給付制度の数	問14 調査書の重要性	(上記就職支援部署の正規職員数)(a)
問3-10今後どのような設問やテーマでの調査を希望するか	問4-2 独自の奨学金貸与制度の数	問15 今後の変化、実現可能性について	(学部の就職担当を含む就職支援スタッフ総数)(b)
問4-1 学部収容定員数	問5-1 図書館の蔵書数	問1 専門職業大学についてどう考えているか	就職スタッフ合計(a+b)
問4-1 学部在籍学生数	問5-2 図書館の貸出数	問2 専門職業大学の設置や移行を考えているか	(就職担当教員数)
問4-1 標準修業年限超学生数	問5-3 外国語検定試験の単位認定制度	問1 今後学士課程の入学定員、入学者数をどのようにしていくか	学校代表者名
問4-1 外国人留学生数	問5-4 語学講習・補習(正課外/受講料なし)	問2 授業料をどのようにするか	同肩書き(学校代表者肩書き)
問4-1 25歳以上学生数	問5-5 授業の補習(正課外/語学以外)	問3 学生数の確保と入学者の学力について(どちらを重視するか)	同任満了日(年月日まで)
問4-1 秋入学学生数	問5-6 入学前教育制度	問4-1 学部学科の新設についての検討	会計監査法人名
問4-1 教員数	問5-7 オフィスアワーについて	問4-2 学部・学科の大枠化(カリキュラムや入学者選抜)	メインバンク名
問4-1 職員数	問5-8 SA(スチューデントアシスタント)制度	問5 学生数を確保するための方策	送付先郵便番号
問4-2 入学方法別入学者数	問5-9 インターンシップの単位認定制度	問6 文部科学省の定員超過規制について	送付先住所
問4-2 入学方法別退学状況	問6-1 学部名	問7 大学設置基準について	部署名
問4-3 2012年4月に入学した学生数	問6-2 学部の所在地	問1 どのような教育内容を全学で実施しているか(入学前教育、初年次教育、カリキュラムの体系化、教育方法の改善、成績評価の厳格化、学修成果の把握、教員の教育力向上、学生支援、キャリア形成支援・就職支援、全学的な教育ガバナンス強化)	お名前
問4-3 2016年月に退学した学生数	問7-1 1年次入学定員数	問2 入学前教育・初年次教育の取り組み内容について(具体的に記述)	メールアドレス
問4-3 標準修業年限を通してみた退学率	問7-2 1年次入試志願者総数	問3-1 学生調査の実施について	電話番号
問4-4 2012年4月に入学した学生数	問7-3 1年次入学合格者総数	問3-2 卒業生調査の実施について	財務に関する情報
問4-4 2012年4月に入学した学生のうち、2016年3月に卒業した学生数	問7-4 1年次入試入学者総数	問3-3 学生調査や卒業生調査の結果を教育改善に活用しているか	教育情報(学生情報)
問4-4 標準修業年限卒業率	問8-1 1年次入試入学者の地元占有率	問4-1 学生寮の設置について	学生の総数(c)
問4-4 2012年4月に入学した学生のうち、2013年3月までに退学した学生数	問8-2 1年次入試女子入学者数	問4-2 学生寮の定員	(cのうち大学院生)
問4-4 入学後1年以内の退学率	問8-3 1年次入試現役入学者数	問4-3 学生寮の入居の必須	収容定員数(全学年合計)(d)

追加資料

平成30年3月2日 (金)

Y社2016調査	O社2016調査	A社2016調査	T社2016調査
問4-4 2012年4月に入学した学生のうち、留年している学生数	問9-1~6 入試方法別入学者数	問4-4 学生寮の特徴	(dのうち大学院生)
問4-4 留年率	問10 編入学者総数	問1-1 英語で授業を行っている科目の割合	2015年度入試:入学定員(e)
問4-5 退学理由	問11-1 海外の大学への留学の必修	問1-2 問1-1SQ 内、日本人の授業の割合	(eのうち一般入試募集定員)
問4-6 退学率を下げる対策	問11-2 英語による授業(語学以外)	問1-3 英語で行う授業の割合の今後の予定	2015年度入試:総志願者数(f)
問4-7 転学について	問11-3 卒業論文・制作・発表の必修	問2-1 非常勤講師による授業の割合	(fのうち一般入試志願者数)
問4-8 納付金について(学部別)	問12-1 卒業者総数	問2-2 授業の外部委託および委託理由	2015年度入試:総志願者/入学定員倍率
問4-9 奨学金について	問12-2 進学者数	問3 2015年度中に海外プログラムに参加した学生と受入数	2015年度入学者数(g)
問4-10 学部卒業後の状況	問12-3 就職者数1(正規の職員等)	問4 学校基本調査に準じた学生数と留学生数	(gのうちAO入試での入学者数)
問4-11 東日本大震災関連	問12-4 就職者数2(非正規の職員等)	問1 2016年3月卒業・修了予定者の就職活動スケジュール(広報活動3月1日以降、採用選考活動8月1日以降)のメリットとデメリット	(gのうち推薦入試での入学者数)
問5-1 学部別の試験状況	問12-5 臨床研修医数	問2 就職活動スケジュールの影響	(gのうち帰国子女入試での入学者数)
問5-2 国家試験に合格しなかった学生のサポート	問12-6 その他	問3 広報、選考の解禁時期について	(gのうち社会人入試での入学者数)
問5-3 臨床実習の週数	問13-1 公務員採用者数	問4 就職活動の指導やアドバイス	教員数(助手を除く本務者)(h)
	問13-2 教員採用者数	問5 インターンシップと広報・採用選考活動について	教員数(本務者のうち助手)(i)
	1年以内退学率	問6 インターンシップの課題	教員数(本務者合計)(h+i)=(j)
	4年以内退学率	問7 就職活動のあり方やスケジュール	教員数(兼務者)(k)
	修業年限卒業率	問1 学部別の入学定員・収容定員	外国人教員数(本務者)(l)
	退学率の公開方法	問1 学部別の教員数	外国人教員数(兼務者)(m)
	入学前教育制度	問1 学部別の初年度納入金	外国人教員数合計(l+m)
	就職活動の支援	(学部別)問1-1 非常勤講師による授業の割合	教員数合計に占める外国人教員数の比率
		(学部別)問1-2 授業の外部委託および委託理由	職員数(本務者)(n)
		(学部別)問1 学科別の男女別・年次別学生数	(nうち医療系職員の数)
		(学部別)問2 退学・除籍した学生数	14年度の卒業決定者数(o)
		(学部別)問3 2012年4月(6年制の場合は2010年4月)入学者のうち、2016年3月に卒業した学生数と、2016年3月までに退学・除籍した学生	同・卒業学部生の就職決定者数(p)

追加資料

平成30年3月2日 (金)

Y社2016調査	O社2016調査	A社2016調査	T社2016調査
		(学部別)問1 学科ごとに2015年度の卒業生数および卒業生	(pのうち正規の職員・従業員、自営業主等)
		(学部別)問2 大学院進学者のうち、自大学院への進学者数と、他の大学院への進学者	(pのうち正規の職員等でないもの)
		(学部別)問3 学科ごとに2015年度職業別就職者数の内訳	(pのうち臨床研修医)
		(学部別)問4 学科ごとに2015年度産業別就職者数の内訳	同・大学院進学者数(q)
			就職率
			外国人学生の合計(r)
			(rのうち「留学生」の数)
			交換留学などを行う海外協定校の数
			2017年度入学者の初年度納付金
			発祥、現在の特色、他大学にはない強み、新学部設置や校舎建設など最近の動き、今後の展開方針や計画など
			2015年3月期(2014年度)決算について
			中期計画等で示されている財務戦略
			就職環境や取り組みについて
			大学のグローバルの対応について
			海外留学の必修化について
			奨学金制度について
			奨学金制度の拡充について